

学校評議員会 議事録

校名	大阪府立水都国際中・高等学校
校長名	太田 晃介

開催日時	令和 7年 3月 19日(水)18:00 ～ 19:00
開催場所	大阪府立水都国際高等学校(新校舎)2階会議室
出席者(委員)	菅野正嗣、鉄谷明、林明子、福井崇之(オンライン)
出席者(学校)	太田晃介、ジョンボディング、大山達也、小西雄希
傍聴者	なし
意見聴取に係る資料	資料1～資料4
備考	

議題等(次第順)
1. 校長挨拶 2. 第2回学校評議員会議事録確認 3. 令和6年度学校経営計画評価報告(中学校・高等学校) 4. 今後の予定確認 5. 副校長挨拶・閉会
1. 学校説明(太田) ・1年の評議員の皆様への感謝を述べた。開校6年目で中学校1期生が卒業をし、IB査察も無事終了し、一つの区切りの年となった。 2. 第2回学校評議員会議事録確認(小西) ・資料2に基づき議事録の確認を行った。 ・確認保留事項として、「YMCAを利用し、水都独自の奨学金基金を募り、給付等ができないのか」という質問に対して、事務長から以下の回答があった。 「貸与型奨学金を設立するには資金運用ノウハウが必要であり、給付型奨学金を設立するには大規模な基金が必要となるため、協議が必要となる。」 3. 令和6年度学校経営計画評価 ○中学校報告(大山) ・学力向上について 外部教育産業の方を講師として招聘し、生徒・保護者対象の進路説明会を開催し、大学進学を見据えた進路指導を実施した。各学年、保護者に向けた学年通信を年6回発行し、発達段階に合わせた取り組みを積極的に発信した。一方で、授業時間外での学習時間が目標を下回っていることを踏まえ、次年度は、デジタル教材を活用し、学習時間の可視化を図り、習慣の確立を促していきたい。 ・IB教育の推進 TOK(知の理論)につながる批判的・論理的思考力の育成を目指し、週2時間CL(クリエイティブラーニング)の時間には、仲間と協働しながらプロトタイピングツールを活用して、成果物を制作した。結果、課題発見テスト標準レベルにおいて、当初の目標を大きく上回ることができた。 ・個性を見つけ、そのスキルを伸ばす ハワイ・オーストラリア研修及びホームステイなどを実施、多文化理解を図るとともに、Global dayなど英語に触れる機会を設けるなどし、IBコースの基準となる英語のCEFRB1レベルの割合が中学3年生の当初の目標を大きく上回った。 外部コンテストへの出場機会は、全生徒参加の100%を達成するとともに、コンテストでの上位入賞などの結果を残すことができた。 ・生徒・教職員が安心できる環境づくり 特別支援委員会を中心に個別に支援が必要な生徒に対する支援計画書を作成し、支援に関する取り組みを進めた。 いじめ、セクシュアルハラスメント研修を全教職員対象に実施、人権意識を高めるようにした。 ・開かれた学校づくり 保護者の会を月1回定期的に開催し、会設立の準備を進めた。 公開授業、成果発表会を開催し、Suito Action ProjectやCLなど本校の特色ある教育活動を保護者、地域、教育関係者など幅広い層に情報発信することができた。 ○高校報告(太田) 中期目標 ・IB教育・探究学習を推進する ※2つ目 R6は90%となった。 ・個性を見つけ可能性を伸ばす ※5つめ R6は80名となった。 ・生徒・教職員が安心して生活 ※3つ目 R6は82.3%であった。昨年度より向上しているが、目標には届いていない。 ・進路指導を強化する R6の実績。31名、22名、56名(昨年度までは、1科目だけのものも入れていたが、数値が大きくなるので、基準を絞ってカウントしているため。今後今回からの基準でカウントする。) 本年度の目標 ・学力向上 (2)平日・休日の学習時間が目標に達していない。スタディサプリ等の活用をして、授業外の学習時間の確保を促していく。 ・学力向上 (4)進路情報の発信は、目標を大きく超えている。今後は、方法やタイミングを精査していく。 ・IB教育 (3)高1対象の説明会の回数が大幅に超えている。これはPre-IBセッションや、高校2年生が高校1年生に実施したものを含んでいる。 ・個性を見つけ～ (2)今年度の英語力の達成状況(数字)の説明、すべて目標を超えている。 ・個性を見つけ～ (3)コンテストの出場者の割合は、目標を大きく超えている。教科単位で申し込むことが増えたため。 ・安心して生活～ (3)自主的な活動の肯定率が目標に達していない。取り組みを強化していく必要がある。 ・進路指導 (1)目標は継続的に達成しつつある。次の目標に切り替えていくタイミングに差し掛かっている。 ・校務整理 (1)IBのワークショップ等を入れた結果、大幅に超えている。 ・校務整理 (2)双方向授業の研修について、今年度は1度きりであったが、次年度は万博の関係で、オンライン授業の可能性があるため、回数を増やしたい。 ・開かれた学校 (1)保護者と語る会の実施はなかったものの、保護者の会の設立準備において、同目的を果たすような集まりを持った。 最後に、すでに大幅に達成していたり、恒常的に達成しているものに関しては、次年度以降、次のステップの目標にあげていく。 ○学校評議員からの意見 ・地域との連携に関する取組については、地域からも提案できるように改善し、次年度の万博に関しても学校教育活動に活かせるよう取り組んでもらいたい。 ・IB生を受け入れ大学側としては、IB受験1期生の学生が4月から4年目に入るので、研究内容や進路に関しても評価を行っていきたい。 ・学校の試行錯誤が良い結果を結んでいるので、これを推進する事とその結果を内外に広くアピールする事を願いたい。 ・英語教育・国際理解教育・課題探究型教育の3本柱を推進し、教員の指導力向上を引き続きお願いしたい。

次回の会議日程	
日時	令和7年 6月(未定)
会場	大阪府水都国際中学校・高等学校(新校舎) 2階会議室